



提出 令和7年11月26日

一般質問通告書

☐一括方式

☒一問一答方式

質問

順位

12

東海村議会議長 河野 健一 様

議席番号 16 番 議員氏名 越智 辰哉

質問事項 (件名)	休日診療・夜間診療の在り方について	答弁者 関係部長
要旨（具体的に） 2024年4月から施行された医師の働き方改革により、医師の労働時間に上限が設けられ、また看護師や医療事務員なども慢性的な人員不足が課題となっている。 一方、村内では東海クリニックが8月末で閉院するなど、今後の地域医療体制が維持されるのか不安の声が広がっている。 1) 休日診療の当番医体制の現状及び今後の課題について伺う。 2) 夜間診療の現状について伺う。 【資料請求】休日診療の当番医と患者の受入れ実績（令和6年度～）		

質問事項 (件名)	公共施設のオンライン予約について	答弁者 関係部長
要旨（具体的に） 村としてデジタル化を積極的に推進する中、コミセンなど公共施設のオンライン予約については従来からの変化がなく、まるごとデジタル化構想に掲げられている「誰もがデジタル化のメリットを実感できる社会」には至っていない状況である。 1) 現状における各施設の予約の実態、また利用者からの声はどうか。 2) これまでの議会答弁では「令和8年9月から県の予約システムが新たに切り替わるタイミングで本格導入する」との方針を示していたが、今後の予定は。		

氏 名	越智 辰哉	No. 2
-----	-------	-------

質問事項 (件名)	策定したビジョンや計画と それらを推進する体制について	答弁者 関係部長、村長
要旨（具体的に） 行政と市民との協働あるいは行政が単独で策定したまちづくりに関する様々なビジョンや計画が存在するが、それらを単なる理念に終わらせることなく具体的な施策として実現するには、実行力のある推進体制が必須である。 本村において策定したビジョンや計画、それらを推進する体制の現状について伺う。		

質問事項 (件名)	地域コミュニティーとは異なる 「関係性インフラ」の可能性について	答弁者 関係部長
要旨（具体的に） 社会構造の変化によって地域のつながりの在り方が希薄化・多様化する中、自治会など既存の地域コミュニティーとは「別の形」で存在している日常の小さな関係性に目を向ける必要があるのではないか、という観点から以下伺う。 1) 現状、村で把握しているごみ集積所は何か所か。また、それらを利用している住民は全世帯のおよそ何%に相当するか。 2) ごみ集積所は、住民同士が自然に接点を持つ場として既に機能しているという現状について、村はどう認識しているか。 3) 自治会など既存の地域コミュニティーではなく、ごみ集積所のような日常生活の最小単位で生まれている住民同士の関係性を、新たな枠組み（関係性インフラ）として捉える視点、またその可能性について見解を求める。		